

自動車ピーク時間交通量（将来推計）

入庫動線： →

出庫動線： →



区画道路1号を整備した場合の将来交通量推計

区画道路1号における推計結果

新たな施設による発生集中交通量について、大規模開発マニュアル（※1）等に基づき算定しました。結果は、流入・流出共にピーク1時間で105台と推計されました。これを将来交通ネットワークに流した場合の旧高七小の西側における推計値（最大）は、以下の台数となりました。

北進：現況31台⇒将来+36台（計67台）

南進：現況53台⇒将来+80台（計133台）

注意

矢印内の数値は、令和6年9月25日（水）の各調査個所のピーク時における自動車交通量（高五小東側は、道路断面のピーク交通量とし、その他は交差点ピークとする）に加える形で、将来の交通量の変化を表したものです。また、方面別の交通量の割合は、平成30年に実施されたパーソントリップ調査（※2）を参考にしています。

なお、実際の交通ネットワークは、警視庁協議等を行いながら決定していくため、記載のとおりにならない場合があります。

※1 大規模開発地区関連交通計画マニュアル
（平成26年 国土交通省）

※2 東京都都市圏交通計画協議会による調査